NIPPON ANTENNA

取扱説明書

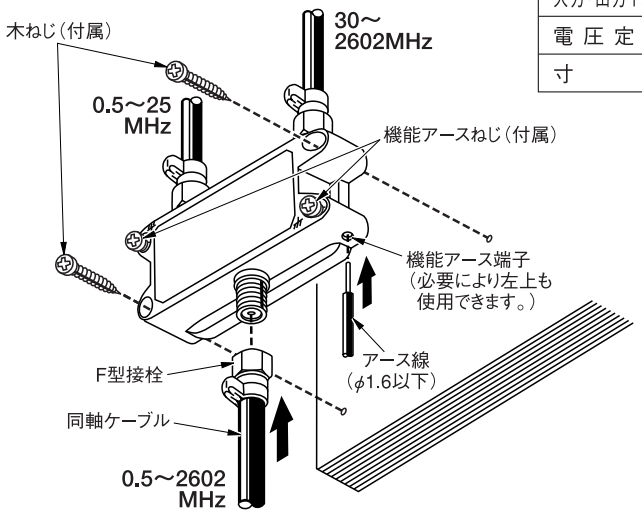
混合（分波）器

MODEL
MX（0.5-25/30-2602）

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特 長

1. 0.5〜25MHz帯と30〜2602MHz帯を混合（分波）する機器です。
2. 接栓座とハウジングを一体化した亜鉛ダイカスト製、裏ブタは圧入装着式で、高度のシールド効果が得られています。



■標準性能表

周波数帯域（MHz）	0.5〜25	30〜70	70〜770	770〜2150	2150〜2602
通過帯域損失（dB以下）	3.0	3.0	1.0	2.5	5.0
阻止帯域減衰量（dB以上）	40	30	30	30	30
入力・出力インピーダンス （Ω）	75				
電圧定在波比（以下）	2.5				3.0
寸法（mm）	57（高さ）×76（幅）×20.5（奥行）				

ポイント

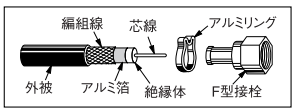
●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより大きい場合は、ピン付コネクターを使用してください。

●付属品として木ねじ、機能アースねじがついています。

●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

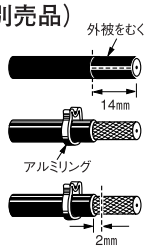
■各部の名称



❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）

❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

❸ 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。

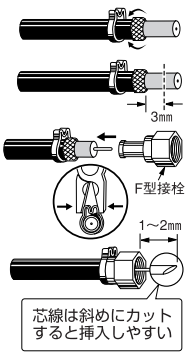


❹ 編組線をめくりあげます。

❺ 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。

❻ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。

❼ 芯線の先端は1〜2mm出し、斜めにカットしてください。
芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



ポイント

●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。

●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。

●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

●F型接栓締付トルク　約2.0N・m（約20kgf・cm）

⚠ 注意　加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

お客様窓口専用ダイヤル　(03) 3893-5243　ご利用時間　9:00〜18:00（土・日・祝祭日・弊社休業日を除く）

情報通信が仕事です。
日本アンテナ株式会社
本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎（03）3893-5221（大代）
ホームページアドレス http://www.nippon-antenna.co.jp/

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
D832017001　平成21年12月